

日野・生活者ネットワークニュース

2013年1月15日発行

No.113

●発行／日野・生活者ネットワーク

〒191-0032 日野市三沢1-26-9-1-102

E-mail: hino-net@cap.ocn.ne.jp

TEL:042(593)9433 FAX:042(593)9414

URL: http://hino.seikatsusha.net/

●発行責任者／出沼恵美子

●生活者ネットワークは、市民主体のまちづくりを実現するため、市民と議会、行政をつなぎます。市民の視点で、情報公開をすすめ、市民と共に、行政を変えていきます。



古池はつみの活動が携帯でも見られます



議会一般質問

市民サービスが第一の

施設管理を！

日野・生活者ネットワーク市議会議員

古池はつみ

私たちが利用する公共施設の管理が以前の「委託」から「指定管理」のしくみに変わり7年目。市民農園や地区センター、市民プールなど、民間の力を活用し、さらに利用しやすい施設管理を求め質問しました。

主な質問内容

- ◎指定管理者制度を導入する施設の選定基準策定について
- ◎事業の指定期間への市の考え
- ◎民間活力が発揮しやすい工夫について

これまで、本制度導入の事業選定は主管課と企画課が決めていたが、指定管理にふさわしい事業であるかの市の基準が必要であると主張。市も基準作りには前向きに検討すると答弁。指定期間については全国の調査で10年間もあるが、3～5年を基本とするとの日野市の姿勢を示しました。

市民サービスの向上につながる工夫については、市民農園を例にあげ、施設ごとの充実や期間の変更など要望し、他の事業についても同様の工夫を求めました。市民からの要望については、事業者がアンケート調査などを行い



反映に努めているが、市のこれまでの考え方をなかなか破ることができないこともあると指摘しました。

また、全国平均より民間への指定が低いことから、民間事業者やNPO団体、市民事業者への指定拡大と、サービス向上の変化などをわかりやすく情報提供することでも要望しました。

その他、更なる農業支援を求め質問しました。

毎年、農業委員会では農業支援を求め、日野市へ建議(*)が行われています。そこで、この建議内容も含め質問をしました。

農産物直売所などのマップづくりにについては、2013年度に策定予定とのことでした。これを機会に農業への理解を市民にも求めていきたいと思っています。

その他、新規就農者や女性農業者への支援、新たな援農制度の導入、学校給食用農産物の産地拡大などを質問しました。学校給食用農産物の産地拡大については万願寺地域で検討中とのことでした。また、収穫や農産物の袋詰めなど簡単な援農については、支援者の拡大に努めたいとの答弁がありました。したので、応援したいと思っています。

*建議 上位の人や機関に対して意見を申し述べること。



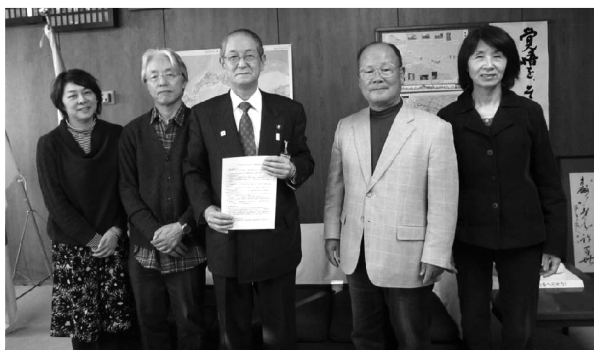
●12月議会の主な議案

◆地方主権改革一括法の公布により、これまで国や東京都が基準を定めていたものを自治体が条例で定めることができるようになりました。

この為、公園や河川、道路の構造や標識などについてそれぞれ条

予算要望

2013年度への予算要望書を11月8日、市長に提出しました。



例制定しました。12月議会の提案では地域性が十分に発揮されるまでに至りませんでした。今後地域にあった基準作りを進めていくとのことでしたので、期待し賛成しました。

◆男女平等推進センターや交流センターの施設利用有料化について

日野市は、施設利用の受益者負担を考え、有料化を勧めています。有料化により活動できなくなるような団体、利用者がでないような配慮を求め、賛成しました。

◆日野市みんなですすめる歯とお口の健康づくり条例の制定

歯の検診や予防、健康教育など、歯と口の健康づくりを進めるための提案です。市民への情報提供も含め、健康づくりには不可欠な施策と考え、賛成しました。